

## 令和3年度 第1回 釜石市都市計画審議会 議事概要

**開催日時:** 令和3年12月22日(水) 10時00分から12時00分まで

**開催場所:** 釜石市役所第4庁舎 第7会議室

### 出席者

#### 審議会委員

木下 純	(一社)岩手県建築士会釜石支部 副支部長	学識経験者 (会長)
中馬 慶子	岩手県環境カウンセラー協議会	学識経験者 (副会長)
川嶋 昭司	市議会議員	市議会議員
三浦 一泰	市議会議員	市議会議員
野田 忠幸	市議会議員	市議会議員
佐々木 聡	市議会議員	市議会議員
高橋 松一	市議会議員	市議会議員
岩切 久仁	釜石ロード女性の会	市民団体
小笠原 房子	釜石市農業委員会	関係行政機関
前川 剛	岩手県釜石警察署長	関係行政機関
佐野 孝 (代理:千葉 信英)	岩手県沿岸広域振興局土木部長 (副部長)	関係行政機関

※ 欠席: 佐々木 晴美 委員 (釜石市社会福祉協議会)

### 事務局

建設部: 建設部長 熊谷充善

都市計画課: 都市計画課長 新沼康民

都市計画係長 瀬戸周、主任 金崎紘輔、技師 岡道雄斗

## 議事概要

### 1. 開会

新沼都市計画課長より、会議成立の報告を行う。

熊谷建設部長より、開会の挨拶を行う。

新沼都市計画課長より、「委員の紹介」、「審議公開の確認」を行う。

### 2. 議題

#### (報告第1号) 第二次釜石市都市計画マスタープランの策定について (素案報告)

##### 1) 報告

瀬戸都市計画係長から第二次釜石市都市計画マスタープランの素案説明を行う。

##### 2) 質疑・意見等

(佐々木聡委員)

前計画にあたる第一次釜石市都市計画マスタープランの実行度合いについてはどのように評価しているか。できた部分、できなかった部分について説明をお願いしたい。

(新沼都市計画課長)

昨年度に実施した住民アンケートで、前計画の基本方針に対する満足度を調査している。調査の結果は、復旧・復興事業により防潮堤等の整備が進んだことで「ハードとソフトが重なりあった暮らしの安全を重視する災害に強いまちづくり」の満足度が50%を超えている。一方で、ソフト的な部分、例えば「中心市街地の再生による復興の顔づくり」や「スマートコミュニティ導入による魅力あるまちづくり」については、不満あるいはやや不満との意見が多い。

ハード面については一定の満足が得られている一方で、まちづくりといったソフト面については課題があると捉えている。

(佐々木聡委員)

資料のp173に「通学路の安全確保」との記載がある。小佐野地区にて登校中の生徒が蓋の壊れた側溝に落ち、足を怪我した事故が発生している。生活応援センターで対応して頂いて、暫定的な対策は実施されているが、しっかりとした子どもたちの通学における安全確保が必要ではないかと思うが、当局の考えをお聞かせ願う。

(新沼都市計画課長)

地域会議の課題としても取り上げられていたと思う。現場の経過として、地域会議・生活応援センターを中心に、町内会とも協働する取り組みにより安全対策が図られていることは、都市計画マスタープランにもある「協働したまちづくり」が地域を中心とした町内活動として行われた結果と捉えている。市民・地域・行政が一体となった活動であり、都市計画マスタープランの主旨に沿った活動である。

また、通学路の安全対策については、小佐野地区に限ったことではないが、例えば行政・PTA・関係機関が定期的に合同点検を行って、必要なハード・ソフト対策の実現へ向けて活動を展開している。その意味でも、都市計画マスタープランの主旨に沿った活動が継続的に行われていると捉えている。

(佐々木聡委員)

他部局にまたがって行動して頂いていると感じているが、恒久的な対策に至っていないと認識しているので、通学路の安全について引き続き取り組んで頂きたい。

昨日、政府の中央防災会議から日本海溝・千島海溝の地震による被害想定が公表された。津波防災の観点からの説明もあったが、政府あるいは岩手県から今後公表される津波浸水想定についての関連や反映の考えをお聞かせ下さい。

(熊谷建設部長)

岩手県が実施している津波浸水想定について、詳細な説明は今後行われる予定であるが、岩手県では大きな被害になると予想されている。すべて取り入れてまちづくりを進めるのは非常に困難である。東部地区をはじめとした沿岸地区においては、危険な区域が増える浸水想定になっている。今後は、確実に避難できる対策を盛り込んでいく必要があると考えており、詳細な浸水想定が公表になれば、ハード以外のソフト対策を含めて生命を守る検討がなされていくものと考えている。都市計画マスタープランでは、津波だけでなく洪水なども含め、起こり得る災害を想定しつつ、市民の安全を守ることを指針としている。

(岩切久仁委員)

釜石の良いところとして、ごみ処理の簡単さや積雪の少なさ、下水道のありがたみを感じている。また、青葉ビルにある公共スペースのような、入りやすく、過ごしやすいスペースが各地区にあると良いのではないか。なお、津波避難の観点から、地図上に代表的な地点の海拔を記載すると、具体的なイメージが湧きやすいと思う。少子高齢化への考えも掘り下げて貰いたい。

(熊谷建設部長)

ごみは、他市町村に比べると分別は簡素だが、プラスチックゴミの問題もあり、世界的な潮流としてはプラスチックも分別する必要がある。将来的に、今の制度を維持できるかは不透明な状況にある。

また、地図上への海拔表記については、避難計画の資料に記載されると思うので、そちらをご活用頂きたい。

下水道については、処理区域内の整備を順次進めているが、既存施設の老朽化による更新を優先して進めている状況にある。

少子高齢化は、オープンシティ推進室が出会いの場創出など、若者が定住し、子育てをしてもらうための取組を行っている。都市計画マスタープランでも、住宅提供の面から取り組んでいきたいと考えている。

(野田忠幸委員)

小川地区や甲子地区において、用途地域の変更が記載されている。企業誘致の観点からみると、工業系への変更が必要ではないか。住居系への変更は企業誘致に逆行するのではないか。

(瀬戸都市計画係長)

住居系への変更により、工場等は建築できなくなるのはご指摘のとおり。本資料に記載のある用途地域の変更は、既に住宅化が進んでいる場所について変更してはどうかとの意味合いであった。準工業地域の指定を続けると、住宅の隣に工場が建つケースも起こり得る。良好な住環境の確保のためにも、既に住宅化が進んでいる地域に関して用途地域変更の検討が必要であると考えている。

(野田忠幸委員)

住居系から工業系への変更も検討いただければと思う。

また、公営住宅の整備と、空家・空地の利用推進との関連性はどうか。

(瀬戸都市計画係長)

空家・空地の対策は、防犯や危険空家の解消、移住定住の促進の観点から行われていると考えている。移住・定住を促進していくうえで、賃貸住宅を望まれる方もいらっしゃるかと考え、公営住宅の活用を検討している。

(野田忠幸委員)

平田地区での懇談会の要望のなかに、国道 45 号が被災することで孤立するとの意見があった。平田上中島線の整備は視野に入っているか。

(熊谷建設部長)

平田上中島線は都市計画路線として存在しているが、三陸沿岸道路が開通したこともあり、市単独での整備は難しく、県へも要望しているところである。孤立対策としては、必ずしも平田上中島線に限定せず、例えば唐丹 IC 方面へ接続する道路なども考えていく必要があると考えている。

(高橋松一委員)

東日本大震災からの復興については一区切りついていると認識しているか。

(熊谷建設部長)

ハードに係る復興について一区切りしていると認識している。心の復興など、ソフト面についてはまだまだ継続しなければいけない部分があると考えている。

(高橋松一委員)

上位計画として第六次総合計画を挙げており、それとも関連するが、人口減少は全国的な流れでもあり避けられないのではないかと。政府ではコンパクトシティ関連施策を打ち出しているが、都市計画マスタープランとの関連性について説明願いたい。第六次総合計画ではコンパクトシティに関する言及があまり見られない。

(熊谷建設部長)

本計画は、上位計画である第六次総合計画において大きな方針が示されたものについて、より詳細な方針を示すものと位置付けている。コンパクトシティとの表現はしていないが、各 8 地区にある生活応援センターを中心としたまちづくりを推進していく方針としている。さらに人口減少が進んだ場合は、中心市街地への移住なども考えなければいけないと認識している。

(高橋松一委員)

人口減少は全国的な傾向である上、被災地域はなおさらな状況にある。可住地面積が 1 割程度の釜石ではなかなか人口増を見込むのは困難である。人口減少、少子高齢化の状況下で、新たな都市計画マスタープランを進めていくには財政の問題に直面するのではないかと。これらに対する対策はどのようにお考えか。

(熊谷建設部長)

本計画では財政について触れていないが、ハード整備から、維持管理・長寿命化のフェーズに移行しなければならない。これらも、国の補助金も活用しつつ、進めていく必要があると考えている。

(高橋松一委員)

地域会議も8つあり、地域の課題が話し合っていた。非常に有意義だと思う。一方で、都市計画事業は歴史があり、釜石においては都市計画区域外も広い。都市計画区域外に住む住民の意見・要望も十分に受け入れながら、取り組みを進めてほしい。

### **3. 閉会**

新沼都市計画課長より、今後の予定を報告し、閉会した。

以 上